

## 電気通信研究所と中国科学院半導体研究所との学術交流協定締結

4月12日（木）午前11時から当研究所所長室において、当研究所と中国科学院半導体研究所における学術交流協定締結調印式が行われました。

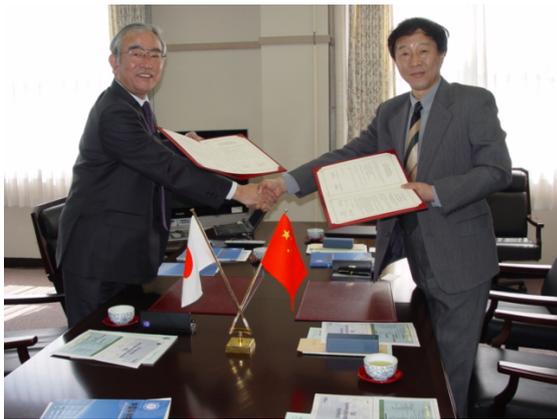
調印式には、中国科学院半導体研究所から李晋闽所長ほか2名、本研究所から矢野所長ほか2名が出席し、（1）研究及び教育のための教員等の交流、（2）共同研究及び教育の計画と実施、（3）研究及び教育のための学術資料及び刊行物の交換を行うことで合意し、李所長と矢野所長が協定書に署名を行いました。

中国科学院は1949年11月に創立された中国最高レベルの科学技術研究機関であり、学術研究のみならず国家政策にも深く関与するなど、中国科学技術領域における最高諮問機関としての役割を果たしています。その傘下に88の研究所を擁し、その一つが1960年9月に設立された半導体研究所です。中国における半導体と半導体素子の基礎と応用の研究をリードすると同時に若手研究者・技術者の育成にも力をいれており、質の高い教育・研究内容は各国から高い評価を受けています。現在、教授約70名、助教授約60名、研究スタッフ約270名、大学院学生約400名が在籍しています。

本研究所と中国科学院半導体研究所の交流は2000年、趙建華博士（現・中国科学院半導体研究所教授）が超高密度・高速知能システム実験施設（現・ナノ・スピン実験施設）の大野英男教授の下で約3年間研究を行い、帰国後、中国科学院半導体研究所において半導体スピントロニクスグループを創設したことに始まります。大野教授には半導体スピントロニクスの優れた業績に対し、2006年10月に中国科学院半導体研究所より名誉教授号が授与されました。中国科学院半導体研究所は、本研究所で2005年度より開始された「ナノエレクトロニクス国際共同研究拠点創出事業」の共同相手先機関の一つとすることも予定されています。

なお、今回の調印式のニュースは中国科学院半導体研究所のホームページにも掲載されました。

(<http://159.226.228.70/semi/>)



問い合わせ先

電気通信研究所 総務課庶務係

喜田 清 TEL 022-217-5420